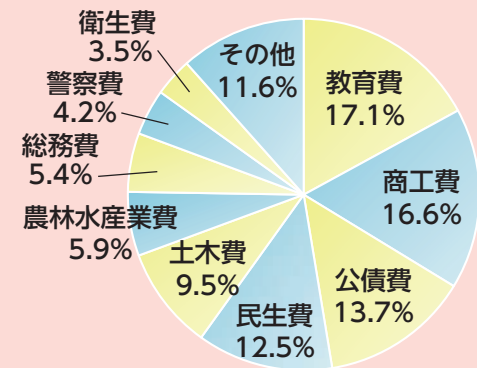


人に寄り添う 未来を見据えた

令和6年度 県予算 6,497億8,346万円



令和6年度一般会計予算

款 別	予 算 額	款 別	予 算 額
教育費	1,108億5,247万円	総務費	351億2,705万円
商工費	1,081億8,032万円	警察費	274億9,534万円
公債費	889億7,759万円	衛生費	228億5,045万円
民生費	812億8,961万円	その他	753億2,415万円
土木費	615億0,969万円	歳出合計	6,497億8,346万円
農林水産業費	381億7,680万円		

議会報告 建設常任委員会の主な質疑(1月閉会中審査、2月定例会一般質疑から)



県内の住宅耐震化率が全国平均(山形県83% / 全国87%)を下回っており、各市町村で実態調査を早急に行い、**対策の強化**を求めます。



市町村と建築関係団体で協議し、急な対策を検討していきたい。



来年度予算で、**補助率を80%に大幅に拡大した対策事業が実施**されることになりました。



除雪オペレーターの確保に対する稼働保障について、道路の幅出しのためのロータリー車等は対象となっていないため、これまでの制度同様に**対象を拡大**することを求めます。

また、機械の修繕費について、**業界からも負担の見直しを求める声**が出ているため、早急な改善を要望します。



今冬状況を踏まえ、**除雪事業者の意見も聞きながら、より効率的・効果的な制度**となるよう検討していきたい。



新年度早々に各地域にて関係団体より聞き取りが行われ、**制度の改善**が行われる見込みです。



やまがた省エネ健康住宅は効果的であると考えますが、今年度の認証実績を伺います。



令和4年度の認証実績94件に対し、6年1月末時点では264件と**3倍近い数値**になっており、省エネ住宅への関心が高まりを受け今後も件数は伸びていくものと考えています。



先般、健康住宅のロゴマーク及び愛称「やまぼっか」が発表されましたが、周知拡大に向けた**広報費の支援制度の創設**を求めます。

さいとう俊一郎 Profile

昭和57年生まれ 41歳
小田島小・東根二中・日大山形卒業後、日本大学芸術学部へ入学
衆議院議員秘書として公設第一秘書など15年間、務める
東根市議会議員を経て、令和5年4月 山形県議会議員選挙にて8,805票をいただき、初当選

- ・会派 県政クラブ(会派協議会世話人)
- ・委員会等 議会運営委員会委員に新たに就任(県議会の運営を決める委員会に抜擢いただきました)
文教公安常任委員会委員
- ・議員連盟 スポーツ振興議員連盟事務局次長

- ・(一社)東根青年会議所 外部監事
- ・東根市消防団第5分団第5部 部員
- ・(公社)山形県ボウリング連盟 副会長
- ・(公社)日本中国料理協会山形県支部 顧問
- ・東根市剣道連盟 相談役

〒999-3773 山形県東根市島大堀255
TEL・FAX (0237) 42-2154
E-mail : saitou21passion@gmail.com

<http://saitou-s.jp/>



山形県議会議員

さいとう俊一郎 県議会レポート



県議会議員 2年目の活動へ。 —東根市から「ひたむきに 県政発展」を目指して—

市民の皆さまには、いつもお世話になり有り難う御座います。

県議会の議席をお預かりし、お蔭さまで丸一年が経ちました。

9月の予算特別委員会に続いて、2月定例会では初めての一般質問に臨ませていただき、吉村知事や平山副知事に県政発展に向けた質疑や政策の提案を行わせていただきました。

能登半島地震を受けて、「災害に強い県づくり」が県民の皆さまから求められている中で、社会インフラの整備が重要なテーマであると考えます。

道路や河川の強靱化、消防力の強化と並んで「医療の充実」は欠かせません。

北村山公立病院に対し、医師や看護師の確保に加え、財政支援の必要性を提案し、引き続き、県が経営に参画する「新たな医療の仕組み」の実現を目指す決意です。

市民、県民の皆様の幸せのために、新たな発想力で将来を展望し、県政与党の立場から東根発「あったかい県政との架け橋」として、新年度も全力を尽くして参ります。

少雪暖冬で異常気象を心配するところですが、お体ご自愛いただき、これからもご指導ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

山形県議会議員

齋藤 俊一郎

県政へのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください!

山形県議会議員 齋藤俊一郎事務所

さいとう俊一郎 県議会2月定例会 一般質問に立つ!

2月29日、県議会議員として初めての一般質問は、本県伝統産業と文化の振興のため、有志議員による「着物議会」として行われ、米沢織に和装し、登壇しました。

吉村知事、平山副知事など県執行部に対し、「市民・県民の声」を政策にかえて提案し、実現を迫りました。

「災害に強い」県づくり

齋藤
県議

能登半島地震を受けて、強固な理念の浸透や現状の見直し、強靱化の加速が必要と考えるが、吉村知事の見解と決意をお聞きします。

知事

今年、新たに「3月11日を県民防災デー」に定め、これまで積み上げてきた実績を基盤とし、能登半島地震など大規模災害の検証や新たな知見を反映させるため、**道路・河川の強靱化推進や訓練の実施**などハード・ソフト両面を組み合わせ、災害に強い山形県の実現に取り組んでいきます。

中小企業支援 新設 「やまがた産業支援機構」

メタバース等XR=将来性豊かな産業への投資についても提言しました

齋藤
県議

県内の中小企業が確固たる経営基盤を築くため、今後の産業政策方針について。また、中核的な役割が期待される「やまがた産業支援機構」を創設した狙いなど今後の取組みについて、平山副知事にお聞きします。

副知事

4月から県企業振興公社と県産業技術振興機構を再編統合した「やまがた産業支援機構」を新たに新設します。県内事業者にワンストップで支援を行う総合支援機関として戦略性を持った経営や人づくりを支援するため、**経営力強化・創業支援・新価値の創出・人への投資**を柱に、県内中小企業、小規模事業者の発展を目指します。

発生件数過去最多を更新! 「サイバー犯罪対策」の推進

齋藤
県議

新たな山形県警察の運営指針を定められ、「サイバー空間における脅威への対処」が初めて明文化され、サイバー犯罪撲滅に向けた方針を示されました。今年、県内でのサイバー犯罪の相談件数は、2,560件(暫定値)で、前の年と比べ284件増え、**過去5年間で最も多くなっている状況**です。

人員の強化に加え、部局を横断した捜査体制の構築など本県としても一層の強化を提案します。

警察
本部長

今年度のサイバー犯罪の**県内検挙件数は86件と過去最多**です。現在、警察庁と連携した「県警察サイバーセンター」を設置し、民間企業団体との連携協定を結ぶなど対策の強化をしていますが、来年度に向けては、捜査資器材の拡大や若者パトローラーの活用、情報発信など対処を強力に推進していきます。

災害医療の提供体制強化

齋藤
県議

山形盆地断層帯の被害想定では、多くの県民が災害医療を受ける可能性があります。北村山地域は、被害想定が大きい北部エリアに位置し、北村山公立病院が唯一の救急告知病院ですが、医師の数が減少しており、人口10万人当たりの医師数が村山地域の中で極端に低い地域となっています。**北村山公立病院を災害拠点病院へ追加し、医療機能を強化**するなど災害時における医療提供体制の整備に向けた今後の方針をお聞きします。

健康福祉
部長

能登半島地震の医療が提供できない事態が生まれたことを検証し、県民が安心して暮らせる医療提供体制の強化を果たしていきます。来年度は、**地域災害医療コーディネーターを看護師など他の医療職種に拡大**し、東北6県と新潟県によるDEMT(災害医療派遣チーム)の参集訓練が本県で行われることなどを踏まえ、医療従事者の技術確保を図ってまいります。

これまでの活動成果 — あったかい県政との架け橋 —

- 知事への東根市重要要望に同行し、「事業推進」を要請



▲新年度予算で新規事業として複数スタートします

- 郡かず子仙台市政とも連携 国道48号のバイパス化を促進



▲仙台さくらんぼ東根会総会

郡市長元秘書の ▶ ごうこ仙台市議会議員 選挙応援

- 農業の現場の声を県政に 食料安全保障の確立を目指します



▲樹園地継承と農業機械の新たな補助制度を提言中

- 長瀬地区松沢区平内川 改修に向けて現地調査 県管理河川の整備・流下能力向上など強靱化を促進



▲白水川と村山野川の支障木撤去や浚渫整備を実施

- 東根地区宮崎区 県道東根尾花沢線 交差点改良事業 新規着手へ視察 国道287号～県道羽入線の整備をはじめ道路改良による地域活性化を推進



▲道路中期計画にて新規事業化に向けた調査事業 決定

- 今年度こども計画を新たに策定へ オレンジリボンフェスタ2023 in やまがた@ひがしね



▲知事へ「こどもの意見権」を提案し、県こども会議の設置を実現